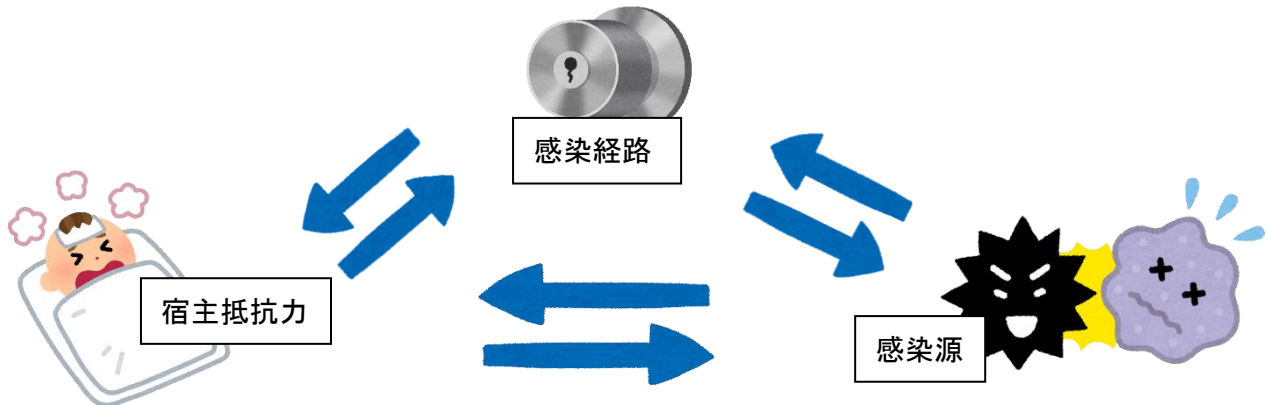


保健のページ

冬場は風邪が流行しやすい時期です。今月は、感染症に関してのお話です。

●感染症が成立するためには、3つの要素があります。



これらのどこかを食い止めることで感染成立を防ぐことができます。

- ・「感染経路」 …「手洗い・マスクの着用」が有効です。
- ・「感染源」 …園内では、「園内環境(床・子どもの手に触れるもの等)・おもちゃの消毒」を毎日行っています。
- ・「宿主抵抗力」 …予防接種がある疾患に対しては、予防接種を受けていただくことをお勧めします。

●冬は下痢や嘔吐を伴う風邪も流行しやすい時期です。

脱水症を防ぐためには、「経口補水液」を少しずつ摂取するのがお勧めです。経口補水液がないときには、スポーツ飲料や、リンゴジュース等の果汁飲料、番茶等でも大丈夫です。

飲水量の目安 ・乳児 30～50ml /kg /1日 (例:体重が8kgの場合 240～400ml/1日)
・幼児 300～600ml /1日

嘔吐後に、一度に多量の水分を摂ると再び嘔吐してしまうので、様子を見ながら飲む量を加減します。全く水分が摂れなかったり、おしっこが出なくなってきたりした場合は、脱水の可能性があるので受診をしましょう。

●実際に嘔吐したら…

まずは換気を行います。外に向かって空気が流れていくようにします。

使い捨て手袋・マスク・エプロンを使って感染拡大を防止します。次亜塩素酸ナトリウム溶液で拭き取ります。布団等洗えないものは、乾燥させ、スチームアイロンや布団乾燥機で消毒します。

=保護者のみなさんへのお願い=

園では、感染症等の流行の兆しを把握しやすいように、欠席の理由をお伺いしています。電話連絡の際には職員から症状等を聞いていますが、メールでご連絡を頂く際にも、可能な範囲で症状等、記載いただくと助かります。

例 「昨夜から嘔吐が続いており、今朝から下痢もしているため欠席します。」
「38.3℃の発熱と、痰がらみの咳をしているので、欠席します。」

★お忙しい時間帯ですが、ご協力お願いします★

看護師より

